

新規事業採択時評価結果(令和7年度 新規事業化箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課
担当課長名： 西川 昌宏

事業の概要

事業名	一般国道13号 横手北道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局				
起終点	自:秋田県横手市八幡 至:秋田県仙北郡美郷町金沢	延長	5.9km						
事業概要									
一般国道13号は、福島県福島市を起点に山形県内主要都市、秋田県横手市等を経由し秋田県秋田市に至る延長約387kmの主要幹線道路である。このうち横手北道路は、交通混雑の緩和や安全な交通環境等の確保を目的とした延長5.9kmの道路事業である。									
事業の目的、必要性									
当該道路の整備により、特に冬期の走行環境を改善し、交通渋滞を緩和することで、交通の安全性向上や安定した救急医療活動と円滑な物流活動の支援を目的とする。									
全体事業費			約300億円			計画交通量	約18,500台／日		
事業概要図									

関係する地方公共団体等の意見

【秋田県知事】
予算化することについて同意いたします。
一般国道13号は、東北地方の内陸部を縦貫する主要幹線道路であり、緊急時に東北中央自動車道及び秋田自動車道を補完する重要な役割を担っております。
一方、横手から大曲間は片側1車線であり、特に当該区間は、交通渋滞に加え、冬期堆雪時には幅員減少による旅行速度の低下が著しく、物流をはじめ地域間の交流・連携、通勤等の日常生活や救急医療活動に支障をきたしています。
このため、新規事業として予算化していただきますとともに、早期の完成に向けて特段の御配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

対応方針(採択理由)

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通混雑の緩和や走行環境の改善、地域の救急医療活動及び円滑な物流活動の支援など、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果（総合評価）

事業採択の前提条件	
■便益が費用を上回っている	
■事業実施環境が整っている	

費用 便益 分析	B/C		(参考)	EIRR	総費用	222億円	総便益	291億円	((参考) 時間信頼性向上便益： 11億円 CO2排出削減便益： 1.6億円	感度分析		基準年
	(参考)	[4%]	1.3	1.4	5.7%	〔 事業費： 195億円 維持管理費： 27億円 〕	〔 走行時間短縮便益： 264億円 走行経費減少便益： 23億円 交通事故減少便益： 4.5億円 〕	交通量変動		B/C＝1.2～1.4(変動ケース:±10%)		令和6年
		[2%]	1.9	1.9				事業費変動		B/C＝1.2～1.4(変動ケース:±10%)		
		[1%]	2.3	2.4				事業期間変動		B/C＝1.2～1.4(変動ケース:±20%)		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

事業 の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・容量を確保し、交通混雑が緩和 【国道13号現道の旅行速度】 〔通常時〕現況:44km/h ⇒ 整備後:55km/h(11km/h向上) 〔堆雪時〕現況:33km/h ⇒ 整備後:52km/h(19km/h向上)
		事故対策	◎	・走行環境の改善により、交通事故が減少 【死傷事故件数】 現況:15件/4年 ⇒ 整備後:11件/4年(約3割減少)
		歩行空間	○	・必要な道路幅員が確保され、冬期においても歩行者の安全性が向上
	社会全体への影響	住民生活	◎	・幅員狭小区間を解消することで、救急搬送時間の安定性・速達性が確保され、地域の救急医療活動を支援 【大仙市役所⇒平鹿総合病院への所要時間】 〔通常時〕現況:32分 ⇒ 整備後:30分(2分短縮) 〔堆雪時〕現況:40分 ⇒ 整備後:36分(4分短縮) 【大仙市・美郷町から平鹿総合病院までの30分圏人口カバー率】 〔通常時〕現況:約16.4万人(59%) ⇒ 整備後:約16.5万人(60%)(1,000人、1%増加) 〔堆雪時〕現況:約13.8万人(39%) ⇒ 整備後:約14.1万人(42%)(3,000人、3%増加)
		地域経済	◎	・幹線道路の混雑緩和により、速達性が向上し、円滑な物流活動を支援 【当該区間の所要時間】 〔通常時〕現況： 8分 ⇒ 整備後:6分(2分短縮) 〔堆雪時〕現況:11分 ⇒ 整備後:7分(4分短縮)
		災害	○	・国道13号が浸水途絶した場合に、信頼性の高い道路ネットワークを構築 ・堆雪幅を考慮した路肩幅員の確保により、緊急車両の通行を支援
		環境	○	・環境(CO ₂ 排出量)の改善〔CO ₂ 排出削減便益:1. 6億円〕
		地域社会	○	・当該事業区間である横手市と周辺市町との連携を深め、生活・産業を支援

事業実施環境	
・都市計画決定手続き完了(R5. 12. 15)	
・秋田県知事、国道13号横手・大曲間整備促進期成同盟会等により早期事業化を要望	